

4. 魅力あふれる元気なまちづくり			令和4年度以前の取り組み（概要）	令和5年度の取り組み	令和5年度から令和8年度までの対応（予定）状況					令和6年度の取り組みの方向性	点数	担当部局	
No	宣言	該当事業			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
22	町のシンボル「未来の創造拠点」整備を推進します	藤久保地域拠点施設事業	令和元年度から3年度にかけて「藤久保地域拠点施設基本計画」を策定し、令和3年度から基本計画を踏まえ、官民連携方式により整備するため、新施設の性能を定めた要求水準書の作成、事業者選定と契約締結に至るまでの手続きを円滑に進めるため、官民連携アドバイザー業務の契約を行い、令和4年度に総合評価一般入札方式による、事業者選定委員会の審査を経て落札事業者を決定した。	令和5年4月28日に落札事業者と契約締結に向けた基本協定の締結、5月12日に仮契約締結、6月議会の議決を経て本契約となったのは、令和5年度で基本設計を行い、基本設計に関するモニタリングを行った。今後については、令和6年度に実施設計、工事着工、令和8年9月に1期工事分の供用開始、令和9年9月に2期工事分の供用開始を予定している。	従来からの継続事業					年度当初より、令和5年度に実施した基本設計に基づき、実施設計に着手する。実施設計は12月の完了を予定しており、完了後に実施設計に関するモニタリングを行う。9月からは藤久保小学校プールや藤久保第一児童保育室の解体に着手し、1期工事の着工に向けた準備工事を開始する。平行して、本体建物に関する確認申請を行い、確認申請済証発行の後、12月より1期工事に着手する。 (←支払いスケジュール変更に関する覚書に基づき、各年度の事業費を修正)	3	施設マネジメント課	
					研究段階								
					検討段階								
					実施								
					終了								
					具体的取り組み	基本設計	実施設計・工事	工事	工事・一部供用開始				
					事業費（千円）	126500千円	932951千円	3989491千円	1938041千円				
23	スマートICフル化と周辺整備可能性調査を行います	スマートIC利便性向上促進事業	スマートIC周辺へのアクセス道路整備については平成27年度に、設計・測量・調査等を実施し、平成28年度から令和4年度にかけて三芳中学校前交差点を含む4交差点の交差点改良及び関越道を跨ぐ歩道橋を含めた町道幹線14号線の歩道整備を行った。また、令和2年度より、スマートIC下り線側の町道上富69号線付替えに伴う築造工事に着手し、令和4年度に暫定形として供用開始した。スマートIC本体工事についてはNEXCO東日本との共同事業であり、早期着手に向け関係機関と密に連携を図りながら調整を行った。上り線側は令和3年5月、下り線側は令和4年7月より本格着工し、鋭意工事を進めている。	スマートIC本体工事については、NEXCO東日本を始め関係機関と密に連携を図りながら工事を進め令和6年3月に供用開始をした。また、スマートICフル化供用までに実施すべき対策（案内標識設置や安全対策の実施）についても計画的に実施をした。フル化開通後のスマートICを活用しての「（仮称）パザール賑わい公園構想」については、これまでの可能性調査結果を基に政策研究所による専門的な見解も活用し当該構想の充実を図り、実現可能な地域活性化発信交流拠点づくりに向けて更なる検討を進めた。また、基本計画策定に向けプロポーザル方式により業務委託の締結をした。	従来からの継続事業					スマートICフル化に伴う社会便益等が正しく発揮されているかを確認する整備効果検証業務を実施する。また、周辺道路の交通量調査を実施し、利用交通量の変化を把握する。（仮称）地域活性化発信交流拠点については、導入機能・配置計画・事業手法・民間活力導入可能性等を整理し、基本計画の策定を行う。	3	道路交通課	
					研究段階								
					検討段階								
					実施								
					終了								
					具体的取り組み	工事	整備効果検証 基本計画策定	概略設計 各種調査・調整	基本設計 事業者公募				
					事業費（千円）	178834千円	24662千円						
24	産業用地開発に向けて地域経済の活性化を進めます	竹間沢通西地区土地区画整理準備支援事業	・事業実施に向けた意識情勢を図るための勉強会開催 ・合意形成の醸成に向けての自宅訪問 ・土地区画整理組合設立準備会の発足 役員（委員）7名	・組合準備会運営支援 技術支援申請（事務局） ・地権者合意の支援 ・業務代行予定者決定支援	従来からの継続事業					・組合準備会運営支援 技術支援申請（事務局） ・地権者合意の支援 ・業務代行予定者決定支援 ・業務代行予定者との協定締結支援	4	道路交通課/都市計画課	
					研究段階								
					検討段階								
					実施								
		終了											
		具体的取り組み	準備会運営支援	準備会運営支援	準備会運営支援	準備会運営支援							
		事業費（千円）	3176千円	414千円	500千円	500千円							
24	産業用地開発に向けて地域経済の活性化を進めます	企業誘致・留置事業	みどり共生産業ゾーンにおける都市計画法第34条第12号区域指定 ・埼玉県企業立地課との情報連携 ・企業誘致促進、企業立地の相談窓口対応 ・工場立地法に基づく届出に関する業務	みどり共生産業ゾーンにおける都市計画法第34条第12号区域指定 ・埼玉県企業立地課との情報連携 ・企業誘致促進、企業立地の相談窓口対応 ・工場立地法に基づく届出に関する業務	従来からの継続事業					みどり共生産業ゾーンにおける都市計画法第34条第12号区域指定 ・令和6年度2件指定予定 ・埼玉県企業立地課との情報連携 ・企業誘致促進、企業立地の相談窓口対応 ・工場立地法に基づく届出に関する業務	2	道路交通課/都市計画課	
					研究段階								
					検討段階								
					実施								
					終了								
					具体的取り組み	窓口相談 情報提供	窓口相談、情報提供 区域指定（2件予定）						
					事業費（千円）	0千円	0千円	0千円	0千円				
25	みよしフォレストシティ構想を推進します	みよしフォレストシティ構想に係るプロジェクトの進捗管理	令和4年度三芳町政策研究所において、みよしフォレストシティ構想についてアドバイザー（識見を持つ者）や市民研究員とともに意見交換を重ねた。その後、パブリックコメントを経て、構想の策定を行った。	令和4年度に策定したみよしフォレストシティ構想の推進を図るため、各プロジェクトごとの進捗管理を行う。また、年1回の推進会議を実施し、各委員及びアドバイザーと今後の推進について確認をする。	従来からの継続事業					令和5年度から引き続き、みよしフォレストシティ構想の推進を図るため、各プロジェクトごとの進捗管理を行う。また、年1回の推進会議を実施し、各委員及びアドバイザーと今後の推進について確認をする。	3	政策推進室	
					研究段階								
					検討段階								
					実施								
					終了								
					具体的取り組み	進捗管理	進捗管理	進捗管理	進捗管理				
					事業費（千円）	107千円	57千円	57千円	57千円				

4. 魅力あふれる元気なまちづくり			令和4年度以前の取り組み（概要）	令和5年度の取り組み	令和5年度から令和8年度までの対応（予定）状況					令和6年度の取り組みの方向性	点数	担当部局	
No	宣言	該当事業			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
26	みよし農業を発展復興させます	農業支援事業	みよし野菜のブランド化の推進を図るため、みよし野菜ロゴと連動した販売促進キャンペーンの実施、女子栄養大学との癒しのレシピ事業を実施した。 また、平成29年3月に日本農業遺産に認定された地域の伝統農法である「武蔵野の落ち葉堆肥農法」を多くの都市住民や幅広い世代に知っていただくため、住民対象の農業塾や小学生対象の学校農業塾、体験落ち葉掃きを実施した。	みよし野菜ロゴと連動した販売促進キャンペーン事業、女子栄養大学との癒しのレシピ事業を実施するとともに、今後の農業経営を見据えた研修会を実施し、みよし野菜のブランド化の推進を図った。 また、住民対象の農業塾や小学生対象の学校農業塾、体験落ち葉掃きを実施し、平成29年3月に日本農業遺産に認定された地域の伝統農法である「武蔵野の落ち葉堆肥農法」を多くの都市住民や幅広い世代へ周知を図った。さらに、地元の農産物等を活用した六次産業支援を行った。	従来からの継続事業						今年度も引き続き、みよし野菜のブランド化の推進を図るため、みよし野菜ロゴと連動した販売促進キャンペーンの実施、女子栄養大学との癒しのレシピ事業等を実施予定。 また、平成29年3月に日本農業遺産に認定され、令和5年7月に世界農業遺産に認定された地域の伝統農法である「武蔵野の落ち葉堆肥農法」を多くの都市住民や幅広い世代に知っていただくため、住民対象の農業塾や小学生対象の学校農業塾、体験落ち葉掃きを実施していく。さらに、地元の農産物等を活用した六次産業支援を行う。	4	観光産業課
					研究段階								
					検討段階								
					実施								
					終了								
					具体的取り組み	販売促進キャンペーン・癒しのレシピ事業・農業塾・体験落ち葉掃き、六次産業支援	販売促進キャンペーン・癒しのレシピ事業・農業塾・体験落ち葉掃き、六次産業支援	販売促進キャンペーン・癒しのレシピ事業・農業塾・体験落ち葉掃き、六次産業支援	販売促進キャンペーン・癒しのレシピ事業・農業塾・体験落ち葉掃き、六次産業支援				
					事業費（千円）	31685千円	35731千円						
27	みよしのガーデンツーリズムを推進します	観光推進事業	令和5年3月に国土交通省で推進している庭園間交流連携促進計画登録制度（ガーデンツーリズム）の探訪部門で、みよし野ガーデン里山探訪が登録された。 令和5年度以降、ガーデンツーリズムの推進を図る。	国土交通省で推進しているガーデンツーリズムの探訪部門で、みよし野ガーデン里山探訪が登録されたことを受けて、世界農業遺産に認定された落ち葉堆肥農法で育て守り続けてきた平地林や畑等の特徴的な風景、江戸時代から続く寺社・農法から生まれた大地で現在の魅力を合わせたガーデンなど、季節ごとにオープンフォレスト・オープンファーム・オープンガーデンを体感できる三芳の里山風景を巡るバスツアーを年3回実施し、三芳町独自のマイクロツーリズムの推進を図った。また、パンフレットやガイドマップを製作し、周知を図った。	従来からの継続事業						ガーデンツーリズムの探訪部門で、みよし野ガーデン里山探訪が登録されたことを受けて、今年度は三芳町観光PR業務委託として、民間の旅行者を活用し、世界農業遺産に認定された落ち葉堆肥農法で育て守り続けてきた平地林や畑等の特徴的な風景、江戸時代から続く寺社・農法から生まれた大地で現在の魅力を合わせたガーデンなど、季節ごとにオープンフォレスト・オープンファーム・オープンガーデンを体感できる三芳の里山風景を巡るバスツアーや町の観光資源の更なるブラッシュアップを図り、町独自のマイクロツーリズムを推進する。また、ガーデンツーリズムパンフレットを製作し、その周知を図る。	4	観光産業課
					研究段階								
					検討段階								
					実施								
					終了								
					具体的取り組み	みよし野ガーデン里山探訪ツアー、パンフレット製作	みよし野ガーデン里山探訪ツアー等	みよし野ガーデン里山探訪ツアー等	みよし野ガーデン里山探訪ツアー等				
					事業費（千円）	2949千円							
28	芸術文化のまちづくりを推進します	芸術・文化推進事業	芸術文化のまちづくり条例に基づき、芸術文化推進会議を立ち上げ、三芳町芸術文化推進基本計画（R4～R13）を策定した。	芸術文化推進基本計画に基づく、推進プログラムを展開した。みよし芸術祭を初めて開催し、期間中、延べ10,234人に参加いただいた。他にも、まちなかコンサート、障がい者向け打楽器ワークショップを実施して住民が気軽に芸術文化にふれる機会を提供したり、文化庁が取り組む学校巡回公演への全校申請やアウトリーチの実施を通じて児童生徒が芸術を体験できたりと、誰もが芸術文化に親しみやすい環境づくりに取り組んだ。 また、全国規模以上のコンクールに出場する住民に交付する芸術文化奨励金も5件（全国1、国際1件）となった。	従来からの継続事業						みよし芸術祭を、秋（9～12月）に加え春（3～5月）にも拡充し、より多くの住民が芸術文化にふれることのできる機会を増やす。また、新規に公募型ミニコンサートを実施し、芸術文化活動を行う住民を中心とした発表機会の拡充にも取り組むとともに、移動型ステージを購入し、公共施設だけでなく町の様々な場所を会場としてコンサート等を開催できるよう環境整備も行き、柔軟性のあるイベント展開を行っていく。	4	文化・スポーツ推進課
					研究段階								
					検討段階								
					実施								
					終了								
					具体的取り組み	みよし芸術祭の開催	推進プログラム（新規事業）の開催	推進プログラム（新規事業）の開催	推進プログラム（新規事業）の開催				
					事業費（千円）	5184千円	5948千円	6000千円	6000千円				